



三本木ひまわりの丘 写真提供:宮城県観光課

計量みやぎ

2018.9.1
編集発行
仙台市太白区長町7-22-23
(一)宮城県計量協会
TEL 246-2466・FAX 247-1490
www.keiryo.net/

第六十一回 定時総会開催

平成三十年年度定時総会が、六月一日「ホテルモントレ仙台」において開催されました。

総会は、千葉副会長が開会を宣し、鍋島会長の挨拶に続いて、計量功労者の表彰に移り、宮城県知事褒賞一名、計量協会長表彰二名、同褒賞三名計六名の方々がそれぞれ受賞され、受賞者を代表して日東インダ(株)八島仁氏が謝辞を述べ、宮城県知事代理の櫻井 禎経済商工観光部産業立地推進課副参事兼課長補佐、石川光次郎宮城県議会議員、渡辺博仙台市議會議員から、表彰者への祝辞を頂き表彰式を終了しました。

引き続き、定款に基づき鍋島会長が議長に就き総会議事の審議に入りました。

議案は第一号から第三号までの三案で事務局から説明がなされ、それぞれ満場一致で承認されました。なお、三号議案では、役員の一部選任がありました承されました。(後掲)

議案承認後、事務局から公益目的支出計画の実施、三十年度の事業・収支予算計画、今年秋田県開催の東北・北海道計量大会日程等の報告があり、笠原副会長の閉会挨拶で総会は終了しました。

なお、知事から協会への祝辞として、昭和三十三年四月に社団法人として設立され、長きにわたり計量法の普及啓発活動を通じ、県民の計量文化の向上に努められた業績を挙げ、本日の第六十一回を迎えられたことへのお祝いの言葉を頂きました。また、計量制度は、研究活動・商取引・そして人々の健康と安全の確保や、国民生活の安定に至るまで、広範囲にわたりその基盤となる重要なものであり、県としても適正な計量行政の推進に努めて行くことを述べられ、結びに当協会の発展と会員へのご健勝祈念がありました。



第61回定時総会開催



知事褒賞受賞



御来賓の方々

計量功労受賞者

宮城県知事褒賞

八島 仁氏
日東インダ(株)

(一社)宮城県計量協会会長表彰

三浦 寿樹氏
アズビル金門(株)東北支店
星 亨氏
日東インダ(株)

(一社)宮城県計量協会会長褒賞

加賀谷 誠一氏
日東インダ(株)

佐々木 啓太氏
(株)タツノ東北支店

引地 類氏
(公財)宮城県公害衛生
検査センター



受賞者代表謝辞



受賞者の方々

決議議案等

《第一号議案》

平成二十九年度事業報告について
平成二十九年度の会員状況、総会・理事会等の主要会議、計量思想普及啓発事業の計量記念日「2017みやぎ計量のひろば」のイベント開催や主任計量者試験講習会及び・同レベルアップ講習会、宮城県工業材料依頼試験受託事業、仙台市指定定期検査機関事業、表彰事業、代検査事業、材料試験機検査事業、計量管理受託事業、優良事業所視察研修会の開催、中央・地方団体との連携、行政機関との諸会議、広報活動等について事務局から説明があり異議無く承認された。

《第二号議案》

平成二十九年度決算報告について
事業活動収入 九七、三六三千元
事業活動支出 九七、八二九千元

以上の事業活動等の決算報告について、事務局から説明があり、監事から監査報告がなされ、

異議無く承認された。

《第三号議案》

役員の一部専任について
人事異動に伴い辞任した役員の後任理事の提案が事務局から提示され、異議無く承認された。
(新役員)
理事・川原 彦造 氏
(株)タツノ東北支店
理事・橋本 裕之 氏
(愛知時計電機機(株)仙台工場)
理事・堀江 誠 氏
(東北緑化環境保全(株))
理事・松倉 賢一 氏
(一社)宮城県計量協会

《報告事項》

事務局から以下の報告があった。

①公益目的支出計画実施報告

一般社団法人移行時に課せられた公益目的支出事業について、平成二十九年度(六年目)の実施状況は計画どおり遂行された旨の報告があった。

平成二十九年度公益目的支出額 一、八六五千元
当該事業年度末日の公益目的財産額 一、二三四千元
(平成三十一年三月三十一日完了予定)

②平成三十年度事業計画

平成三十年度実施事業計画の概要説明があった。(後掲)

③平成三十年度収支予算

平成三十年度収支予算について、次のとおり説明があった。

事業活動収入 九五、七六九千元
事業活動支出 九五、三九九千元

④計量功労者の表彰

本年度の知事褒賞・会長表彰・同褒賞受賞者の功績紹介があった。

⑤平成三十年度東北・北海道計量大会等日程

今年度の東北・北海道計量大会は、秋田県開催で、その日程等の紹介と参加要望があった。
(日程後掲)

⑥平成三十年度優良事業所視察研修会

優良事業所視察研修会の日程及び研修事業所の紹介と参加要望があった。



平成三十年度 事業計画

一 計量普及、啓発事業

- 計量記念日事業
二〇一八みやぎ計量のひろばの開催
- 計量管理優良事業所等の視察研修会開催
- 計量証明事業の主任計量者試験講習会及びレベルアップ講習会の開催
- 計量に係る資料の作成配布情報の提供

二 指定定期検査事業

- 仙台市の指定定期検査機関として、仙台市内の特定計量器(質量計)の定期検査を実施
- 今年度検査対象区域は、若林区・宮城野区・泉区の約一、四〇〇戸 四、三〇〇台

三 計量器検査事業

- 計量士による検査事業
計量行政機関に代わる質量計の定期検査・計量証明検査を実施
- 県内約七七〇事業所
二、八六〇台
- 計量器校正事業・材料試験機検査事業
質量計の校正や一軸試験機等のJCSS校正等を実施

四 官公庁受託事業

- 宮城県産業技術総合センターの工業材料依頼試験業務の受託
- 仙台市の商品量目・特定計量器等の立入検査補助業務及び基準分銅、質量比較器等管理業務の受託
- 大規模小売店等の計量士による計量器の検査及び商品量目の適正計量管理業務の実施
- 日本郵政グループの郵便局等の適正計量管理業務の実施
- 収入証紙売りさばき事業
- 宮城県の収入証紙売りさばき機関として、材料試験・計量器検定検査等の申請者へ県収入証紙の販売

五 計量管理事業

- 日本計量振興協会諸会議(東京)
- 計量記念日全国大会(東京)
- 東北・北海道計量大会(秋田)
- 東北六県計量士協議会(宮城)
- 全国計量士大会(福岡)
- 計量行政、計量技術諸会議等

七 計量行政並びに関係機関諸会議

- 計量情報・会員情報及び協会活動状況を機関誌、ホームページ等で効果的に発信

八 計量関係情報の提供

- 計量情報・会員情報及び協会活動状況を機関誌、ホームページ等で効果的に発信

自動はかり(重量選別機)の実機研修会

五月九日(水)、日東インシダ(株)本社において、(一社)日本計量振興協会の第九回自動はかり(自動重量選別機)の実機研修会が(株)インシダから田尻祥子氏を講師に迎え、東北六県の計量士二十三名が参加し開催されました。自動捕捉式はかり等が検定開始になることから、実機の前で説明を聞きながら、熱心な質問がなされていました。(自動はかりの検定期間は最終ページを参照。)

《研修内容》

- 一. 計量法関係政省令の改正
- 二. 自動はかり定義と種類
- 三. インシダが製造・販売している自動はかり
- ・ コンピュータースケール(組み合わせ計量器)・自動計量機・ウエイトチェーカー(自動重量選別機)・自動計量値付け機

四. 今後の自動はかりの計量管理
五. 自動捕捉式はかりの検定と修理
改正JIS B 7607(参考)



計量証明事業主任計量者レベルアップ講習会

八月二十四日(金)にエル・ソーラ仙台にて、一般計量証明事業主任計量者の、適正な計量証明遂行のためのレベルアップ講習会を開催いたしました。

(主催：(一社)宮城県計量協会)
(支援：宮城県計量検定所)



計量証明事業主任計量者講習会のお知らせ

平成三十年度第二回計量証明事業主任計量者試験と、試験講習会は左記日時のとおり行います。

主任計量者試験

(実施機関：宮城県計量検定所)
平成三十年十月二十二日(月)
午後二時四十五分～

午後三時四十五分～

主任計量者試験講習会

(実施機関：(一社)宮城県計量協会)
平成三十年十月二十二日(月)
午前十時～午後二時三十分

※詳細は協会ホームページをご覧ください。か当協会へご連絡下さい。

計量記念日事業

何でもはかってみよう「コンテスト」及び「計量啓発標語作品募集」

(一社)日本計量振興協会では、計量の普及啓発活動の一環として、十一月一日の「計量記念日」にちなみ、小学生を対象に、ものを計ることに興味を抱き、新しい発想を生み出すきっかけにしてほしい「何でもはかってみよう」コンテストの募集が今年度も始まりました。

会員のお子さんはもちろん、一般の小学生の皆さんの参加応募をお待ちしております。最優秀作品及び優秀作品については、十一月一日開催の計量記念日全国大会(東京)において表彰し、佳作については賞状及び記念品が送付されます。詳しくは大会事務局のホームページを参照して下さい。

<http://www.nikkeishin.or.jp/>



本県計量行政の推進に当たりまして、日頃よりご支援・ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

四月一日付けで宮城県女性相談センターから異動してまいりました狩野と申します。計量行政は初めてですが、消費者行政、保健福祉行政などのこれまでの業務経験等も活かしながら業務を進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、計量制度は、貨幣制度と並び、経済活動の根幹をなす重要な制度でありますとともに、計量制度の適正な運用を確保することで、事業者の方々の信用と安定した県民生活を確保するといった両面を果たすことができるものであると考えております。

その中であつて貴協会は、計量法の普及、計量の改善指導、技術の研究及び交流等を目的として昭和三十三年に現在の法人として創設されましたが、その前身である(社)日本度量衡協会宮城県支部の大正六年の設立から百一



宮城県計量検定所長

狩野 修

年目を迎えられ、これまで長きにわたり計量行政を支えていただいておりますとともに、重要な役割を担ってきていただいております。

現在、計量制度については、現行の計量法施行後の技術の進展や計量行政を取り巻く状況の変化等に対応すべく、自動ほかの特定計量器への追加や新たな指定検定機関制度の導入、検定証印、定期検査証印等の表示方法の見直し等といった制度の見直しが進められております。計量検定所といたしましては、こういった制度の見直しにも的確に対応しつつ、引き続き、貴協会とも良好な関係を保ち、連携しながら適正な計量の確保に向けた事業展開を図ってまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念して、着任に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

優良事業所視察研修会

in 岩手

●(株)東北佐竹製作所

●シチズン時計マニュファクチャ(株)東北北上工場

平成30年度の優良事業所視察研修会は、去る6月27日(水)梅雨空の中、岩手県北上市の二か所の優良事業所について会員17名の参加により行われました。

最初の訪問先は、JR北上駅近くにある(株)東北佐竹製作所です。農業関連の乾燥機、糞摺機、選別計量機の製作やカントリーエレベーター等の大型プラントを手掛けている会社です。

従来は、大型機械等の量産を主としていましたが農産物の低迷と共にニーズに沿った多機種の製作に対応するため工場の生産ライン等に改良を加え現在に至っているとのことでした。また、労働安全の面では各生産ラインに必要な作業主任者が配置され事故等の未然防止対策が施されていました。

東日本大震災により、特に東北南部地域は農地面積の減少、そして農業従事者の高齢化等が重なり農業経営が厳しい状況になっていることは否めません。しかしながら、昨今は行政による農業基盤整備事業の推進や多くの農業法人が設立されるなど農産物の状況が変わりつつあります。この様なことから同社の益々の活躍が期待されます。

次に訪問したのは、北工業団地内にあるシチズン時計マニュファクチャ(株)の東北北上工場です。同社は、2013年7月に製造力の再強化を目指し、グループ社と製造関連部門との統合により設立されました。東北北上工場では時計の各部品の生産及びそれらの部分組立等を行っており、時計本体の組み立ては別工場が担当しているとのことでした。

工場内の各生産工程は殆んどがクリーンルーム化され、自動制御による生産のほか手作業による部分も多く見られました。また、メタル鍍金ではゴルフクラブや釣具等の製品があったことに驚きました。

製品の品質管理は、生産作業及び製品検査等において精密で熟練した技能が求められることから第三者機関による検定資格、社内検定制度及び関連する資格取得を推奨し品質の確保、技術の継承に取り組んでいました。

昨今の働き方改革に繋がる従業員の育児環境整備として工場内に託児所が設置されていました。また、数多くの交流・親睦の場が企画され職場環境の整備に取り組まれていました。

今回の視察研修は、多少天候の影響を受けたものの予定より早く進み帰路の車中では談笑しながら仙台に着き、平成30年度の視察研修が無事に終了しました。

記：阿部 喜一 (公財)宮城県公害衛生検査センター



(株)東北佐竹製作所



シチズン時計マニュファクチャ(株)東北北上工場

11月1日は計量記念日

産業や経済、社会生活の中にある様々な計量についての基盤を支えているのが計量法です。この計量制度の普及や社会全体の計量意識の向上とこの制度の重要な役割を広く知っていただくため、現在の計量法が施行された平成5年11月1日を「計量記念日」と定め、経済産業省、全国の計量行政機関、計量関係団体は計量思想普及啓発のイベントを開催しております。

今年の本県の記念日事業は、仙台市八木山動物公園で『動物と計量・ふれあいひろば』をテーマとして計量に関心を持っていただくイベントを行いますので、たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

日時 平成30年10月28日(日)
10:00~14:00

場所 仙台市八木山動物公園
仙台市太白区八木山本町1-43



2017年開催風景



棒はかり作成中

この様な教室への参加は協会として二回目の試みでしたが、今後も計量の社会基盤としての普及啓発に努めていきたいと思っております。

実感していただきました。計量思想普及啓発の一環として、協会から講師派遣を行い、小学生十八名及びその保護者さんたちと一緒に棒はかりの工作をしました。簡単な計量の話や作成した棒はかりで実際に野球ボールやお菓子などを組み合わせて二五グラムになるように計ってもらい、正確に計る大切さと身近なはかりを作る楽しさを実感していただきました。

夏休み親子講座
棒はかりを作ってみよう!

平成三十年七月二十七日、エルパーク仙台セミナーホールにて仙台市消費生活センター主催の夏休み消費生活親子講座「作ってみよう! 棒はかり」を開催しました。計量思想普及啓発の一環として、協会から講師派遣を行い、小学生十八名及びその保護者さんたちと一緒に棒はかりの工作をしました。簡単な計量の話や作成した棒はかりで実際に野球ボールやお菓子などを組み合わせて二五グラムになるように計ってもらい、正確に計る大切さと身近なはかりを作る楽しさを実感していただきました。

宮城県産業技術総合センターでは、去る七月六日(金)、七日(土)の両日、一般公開「技術のおもちや箱」が開催されました。この一般公開は主に県民、特に青少年を対象として技術とふれあう場を提供し、来所された皆様に産業技術を身近に感じていただくと共に、センターの事業内容を広く県民に紹介し、ご理解いただくために開催されているものです。初日の六日(金)は近隣の小学生を招待して、「工業製品から食品まで」に及ぶ当センターの設備・機器を利用した「ものづくり」の楽しさに触れながら様々な成果物の展示と実演紹介・事業紹介、及び県が認定したりサイクル製品の展示と紹介がありました。

みんな集まれ「技術のおもちや箱」
一般公開
(協会泉分室)



物の強さを調べる引張り試験

七日(土)にはセンター内に配置されている当協会泉分室においても「びっくり! 鉄が切れる瞬間!」ものの強さを調べる引張試験というテーマを掲げ建築・土木材料の鉄筋の引張試験の実演を行いました。普段目にしない、建物などに使われている建築材料である鉄筋の説明から、構造や強度などの説明等、実演を行いつつテーマである「びっくり!」を体験していただきました。また、同時開催として「みやぎの伝統工芸体験」や「車のオートライトの仕組み」などの催し物コーナーがあり、鑄物教室など多くの見学者で賑わっていました。そのほかにも沢山の展示品や実演・体験コーナーがあり、多くの見学者が興味深く見入っており好評のうちに四百七十一名の来場者がありました。

計量法施行令及び
施行規則の一部を改正する
政省令改正の主な概要

改正内容

- 一. 特定計量器の追加
 - (一) 検定対象となる自動はかり
 - ・ ホッパースケール・充填用自動はかり・コンベヤスケール・自動捕捉式はかり
 - ・ その他の自動はかり
 - 二. 製造・修理事業の届出
 - (一) 届け出の分類
 - 右記自動はかりの名称の五分類
 - (二) 届け出が必要な事業者
 - 自動はかりを既に製造・修理を行う全ての事業者
 - (三) 届け出を行う期間
 - 平成三十年九月三十日まで
 - 三. 自動はかりの検定開始
 - (一) 新たに使用する自動はかり
 - ・ 自動捕捉式はかり
 - 平成三十一年四月一日
 - ・ ホッパースケール・充填用自動はかり・コンベヤスケール
 - 平成三十二年四月一日
 - (二) 既に使用されている自動はかり(早期(一)の期間から自動的に受けることは可能)
 - ・ 自動捕捉式はかり
 - 平成三十四年四月一日
 - ・ ホッパースケール・充填用自動はかり・コンベヤスケール
 - 平成三十五年四月一日
 - 四. 自動はかりの使用制限の開始日
 - (一) 新たに使用する自動はかり
 - ・ 自動捕捉式はかり
 - 平成三十四年四月一日
 - ・ ホッパースケール・充填用自動はかり

- 自動はかり、コンベヤスケール
 - 平成三十五年四月一日
 - (二) 既に使用されている自動はかり
 - ・ 自動捕捉式はかり
 - 平成三十七年四月一日
 - ・ ホッパースケール・充填用自動はかり、コンベヤスケール
 - 平成三十八年四月一日

- 五. 検定の主体
 - (一) 検定申請を受け付けて検定を実施する機関
 - ・ 産業技術総合研究所
 - 指定検定機関
 - 六. 検定証印等有効期間の設定
 - (一) 検定証印の有効期間
 - ・ 一般的な事業者の場合二年
 - ・ 適正計量管理事業所の場合六年
 - 七. 既に使用されている自動はかりの対応
 - (一) 確認済証の貼付により対処
 - ・ 初回検定時に貼付
 - ・ 産業技術総合研究所、指定検定機関が貼付
 - ◎ 指定検定機関制度
 - 一. 業務区分による業務内容
 - 器差検定を中心に行う指定検定機関
 - 二. 実施対象となる特定計量器の区分
 - ・ 非自動はかり、燃料油メーター(自動車等給油メーター)、ホッパースケール、充填用自動はかり、コンベヤスケール、自動捕捉式はかり
 - 三. 活動地域の限定
 - 日本全国で検定業務を行う



ホッパースケール
充填用自動はかり
コンベヤスケール
自動捕捉式はかり

◎ 非自動はかり等の定期検査の免除期間特例措置の廃止
 ・ 免除期間の特例三年は廃止となり、定期検査の免除期間は平成三十一年四月以降検定証印等の年月が付されたものは定期検査免除期間が一律「一年」。
 ◎ 検定証印等の年号表記及び表示方法の統一
 ・ 検定証印等の年号表記について、和暦表記から西暦表記へ(一部特例あり)
 ・ 指定検定機関の検定証印は、はり付け印により付するものとする。
 ・ アポストロフイ(´)表記も西暦年数の十位以下の前に表示可能

**大崎市三本木地域
ひまわりの丘**
 (表紙写真説明)
 春は菜の花、夏はひまわりの花が咲き乱れる斉田ひまわりの丘6haに約四十二万本のひまわりが咲き誇る中、「ひまわり祭り」が開催されます。丘一面鮮やかな黄色に染まる美しい景色が見られます。期間七月二十八日〜八月十五日まで。

平成30年度 東北・北海道計量大会等日程

本年度の大会は、秋田県で開催されます

日	期日	時間	行 事	会 場
程 表	10月4日(木)	12:00~	受付・昼食	「秋田ビューホテル」 Tel 018-832-1118(代) 秋田市中通2-6-1
		13:15~	東北・北海道計量大会	
		14:30~	第67次東北六県北海道計量協会連合会総会	
		16:00~	記念講演 講演者 橋本 五郎氏 「演題未定」 読売新聞東京本社特別編集委員	
		18:00~	懇親会	



地球温暖化の影響が日本全国猛暑が続いている。埼玉県熊谷市では、七月二十三日四十一・一度を観測、二〇〇七年八月に当時の国内最高気温四〇・九度を記録した。二〇一三年八月に四一・〇度を記録した高知県四万十市に抜かれたが、五年ぶりに一位に返り咲いた。
 さて地元仙台市で八月一日、観測史上最高気温を更新する二七・三度の猛暑日を記録した。気象庁によると、従来の歴代一位は二〇〇七年八月に記録した三七・二度で、十一月に記録された二七・二度、今年七月に夏日になった日は二十八日、うち真夏日となった日は十七日、平均気温は二五・五度であった。七月の平均気温で見ると、統計がある一九二七年(昭和二年)は二二・四度(最高温度二六・九度)、一九六四年の東京オリンピックは、二二・五度(最高気温は二六・二度)、一九八九年(平成元年)は二二・一度(最高気温は二四・一度)であった。最近アレシバなどで三十五度を越えることがかかわる高温注意報を発令して日中の運動はできるだけ控え、こまめに水分を補給し、塩分不足にも注意して熱中症に厳重に警戒するよう呼びかけている。これも温度の基準があつて、そこから作られた温度計で毎日のくらしの中で正確に計って、人々の安全安心を担っている大切な計測器であると実感している。

編集後記